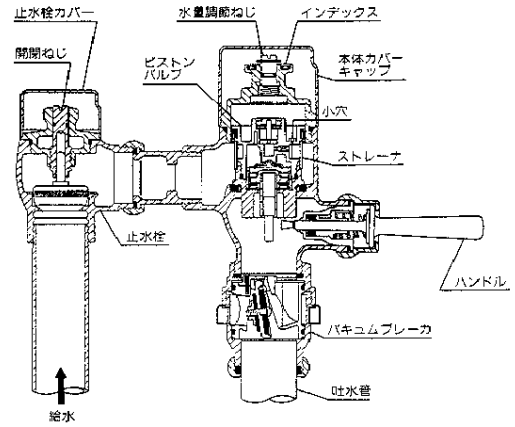
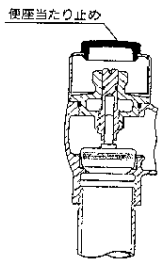
TOTO

節水フラッシュバルブ(バキュームブレーカ付)施工説明書

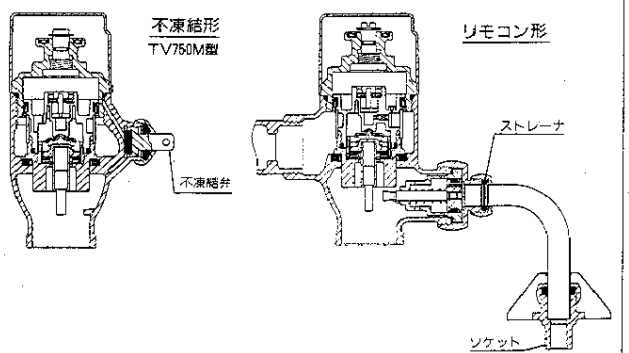
製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

各部の名称





便座当たり止め付の場合



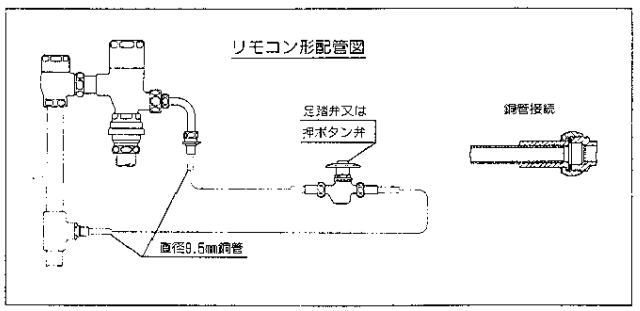
使用条件

●給水圧力
最低必要圧力……0.07MPa
注：リモコン形をブローアウト便器（C454PV）又は壁掛サイホン便器（C450）とセットする場合の最低必要圧力は0.1MPaです。
最高圧力……0.75MPa

●給水管接続部までの給水引込管やメーター等のサイズは、25A以上にしてください。

取付上の注意

●取付前に必ず、給水管内のごみ、砂等を完全に洗い流してください。
●バルブが垂直（本体カバーが上）になるように取付けてください。
●各接続部は漏水のないよう確実に接続してください。
●リモコン形の場合は配管をつぶさないように注意してください。



●ピストンバルブを取出し、ストレーナにごみが詰まっていないかどうか確かめてください。ストレーナにごみが詰まると、吐水量が多くなったり水が流れ放しになったりしますので、ブラシ等で掃除してください。また、リモコン形の場合は押棒部のストレーナを取出し、ごみが詰まっていないかどうか確かめてください。ごみが詰まると作動が不確実になりますので、ブラシ等で掃除してください。

水勢及び吐水量の調節

●水勢の調節
フラッシュバルブは水圧の高低によって水勢が変わります。水勢が強すぎると、水飛びを生じたり洗浄音が高くなったりします。また、水勢が弱すぎると、十分な洗浄ができませんので、次の要領で水勢の調節を行ってください。
※止水栓カバーを取はずし、開閉ねじによって水勢の調節を行います。
開閉ねじは、右に回すと水勢が弱まり左に回せば強くなります。調節が終ったら止水栓カバーをねじ込み、十分締付けてください。

●吐水量の調節
大便器の標準洗浄水量は次のとおりです。

洗浄様式	標準洗浄水量
洗出し式 洗落し式	11L
上記以外	13L

※一部の便器は標準洗浄水量が左記と異なりますので、便器の注意書に表記している洗浄水量を確認のうえ吐水量の調整を行ってください。

吐水量はほぼ13Lに調節して出荷されていますが、標準洗浄水量が13L以外の大便器とセットする場合は、吐水量の調節を行ってください。

1.本体カバーキャップを取はずしてください。
2.出荷品は右図（上）のようにセットされていますので、水量調節ねじを矢印方向に回転させインデックスの数字と合印を合わせてください。右図（下）
3.ハンドルを操作して確実に洗浄できるか確認してください。
注：インデックスに表示されている数字は吐水量の調節が容易にできるように表示した目安です。したがって正確な吐水量を表わした数字ではありません。
※洗浄が不完全な場合は、水量調節ねじで吐水量をさらに適正に調節してください。
4.本体カバーキャップをねじ込み、十分締付けてください。

〈出荷品の調整〉

〈11Lに合わせた例〉

矢印方向に回転させ表示の数字に合印を合わせる。

●お手入れ
めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入方法をご指導ください。
1.常に柔らかな布でみがき、時にはミシン油やカーワックスなどをしませた布でふくこと。
2.クレンザー・みがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤や、ナイロンたわしなどは使用しないこと。
3.酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。
もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

再生紙を使用してます。

※添付の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。